

レクリエーション・インストラクター資格取得のために必要な科目一覧

レクリエーション理論(15時間)

A:レクリエーションの基礎理論 (4.5時間以上)	A-1:レクリエーションの意義
	A-2:レクリエーション運動を支える制度
	A-3:レク・インストラクターの役割
B:レクリエーション支援論 (4.5時間以上)	B-1:ライフスタイルとレクリエーション
	B-2:少子高齢社会の課題とレクリエーション
	B-3:地域とレクリエーション
C:レクリエーション事業論 (6時間以上)	C-1:レクリエーション事業とは
	C-2:事業計画Ⅰ 集団を介して個人にアプローチする事業の作り方 ※事業計画Ⅱと選択可
	C-3:事業計画Ⅱ 市民を対象とした事業の作り方 ※事業計画Ⅰと選択可
	C-4:レクリエーション活動の安全管理

レクリエーション実技(36時間)

D:コミュニケーション・ワーク (6時間以上)	D-1:コミュニケーションワークⅠ ホスピタリティとは
	D-2:コミュニケーションワークⅡ ホスピタリティの示し方
	D-3:コミュニケーションワークⅢアイスブレイキングとは
	D-4:コミュニケーションワークⅣアイスブレイキング方法
E:目的にあわせたレク・ワーク (9時間以上)	E-1:目的に合わせたレク・ワークとは
	E-2:素材・アクティビティの選択
	E-3:素材・アクティビティの提供
	E-4:対象者間の相互作用の活用方法
	E-5:指導実習1-1
	E-6:指導実習1-2
F:対象にあわせたレク・ワーク (6時間以上)	F-1:対象にあわせたレク・ワークとは
	F-2:対象にあわせたアレンジ法の応用
	F-3:指導実習2-1
	F-4:指導実習2-2
G:演習1 (7.5時間以上) ※演習2と共有可	種目()
	種目()
	種目()
	種目()
	種目()
H:演習2(7.5時間以上)	